



インタビュー全文をいなナビホームページで公開中!!



# 発見! ちょっと気になるまちの人

## 県立伊奈学園総合高等学校 吹奏楽部



県立伊奈学園総合高等学校吹奏楽部は、開校と同時に創部され、現在までに全日本吹奏楽コンクールや全日本アンサンブルコンテスト、全日本マーチングコンテストなどの数多くの大会で優秀な成績を収めてきました。定期演奏会や海外での演奏、テレビ出演など、演奏活動は多岐にわたり、年間20,000人以上の観客の前で演奏しています。また、バラまつりやいなふるさとフェスティバルなどの町内のイベントにも多数で参加いただいています。現在部員は中学校・高等学校あわせて300名以上で、「音楽しよう」をモットーに活動しています。

伊奈学園吹奏楽部は出場する大会別に、全日本吹奏楽コンクールに出場するウインドアンサンブル (WE)、全日本吹奏楽大会に出場するコンサートバンド (CB)、全日本マーチングコンテストに出場するマーチングバンド (MB) の3チームに分けられています。今回は、最後の大会を終えて部活を引退した各チームのリーダーと伊奈学吹奏楽部顧問の宇畑さんにお話を伺いました。

### Adviser

顧問 宇畑 知樹さん

#### 各チームが優秀な成績を収めた理由

— すべては生徒ひとりひとりが努力した結果だと思います。うまくいかないこともありました。全員が「花を咲かそう」とした結果が出たんだと思います。今年は部活動の時間が文部科学省のガイドラインで短くなったので、そもそもの練習の構成から作り直す必要がありました。私自身も苦しかったし、生徒もきつかったのではないのでしょうか。

#### 今年の部活動で印象に残っていること

— たくさんありますが、やはり最後の大会は全チーム良い演奏だったと思います。私はいつも特等席 (指揮者として) で音楽を聴いていますので、幸せな時間でした。

#### 「音楽しよう」「花を咲かそう」に込めた想い

— 「音楽しよう」は、自分から動いてほしい、教師主導でなく自主的に部活動に参加し、音楽に向き合ってほしいという想いが込められています。「花を咲かそう」は、人数が多い部員の中で1軍2軍などなく、自分なりのタイミング・大きさを自分自身を開花させてほしいと思い、よく使っている言葉です。

#### 引退した3年生のみなさんへ

— 社会に出ると良いことばかりではありませんが、高校時代の思い出はずっと心に残っていると思うので、しんどいことがあってもこの部活動の記憶を思い出して頑張ってください。



# Wind Ensemble

リーダー  
竹内 雪乃さん

## 〈第67回全日本吹奏楽コンクール 銀賞〉

### 今年の大会を振り返って

— 地区大会・県大会は悔いが残る演奏でしたが、最後の全国大会で気持ちの良い演奏ができました。全国大会の演奏中、気持ちが入ってみんながひとつになったような気がしました。

### チームとして練習で意識したこと

— WEは3チームの中で約50人と一番人数が少ないので、誰か一人でも調子を崩したり、気持ちが沈んだりしてしまうと全体の演奏がうまくいきません。自分も含めて全員が常に同じ方向（目標）を向いて演奏するのを意識していました。

### 後輩部員たちへ

— つらいこともたくさんあると思いますが、自分たちの音楽を待っていてくれる人たちが必ずいるので、その人たちに支えられていることを考えて頑張ってください。



# Concert Band

リーダー  
赤倉 旭さん

## 〈第21回全日本高等学校吹奏楽大会in横浜 連盟会長賞・横浜市会議長賞〉

### 今年の大会を振り返って

— 大会に向けては、夏の初めから練習を始め、準備をしてきました。先日の横浜大会は、自分たち3年生の最後の大会で、中には人生最後の演奏と考えている人もいたので、より気持ちが入っていましたし、最高の演奏ができたと思います。

### 一番人数が多いチームのリーダーとして

— CBは100人を超えるチームなので、10パートの各リーダーがしっかりと協力しないと回っていかないんです。リーダーは部員全員に目を配っておく必要があるので、全体を見て声掛けをしたり…すべてができていたかどうかはわかりませんが、全力で頑張りました。

### 後輩部員たちへ

— これから夏の大会に向けて土台を作る冬の練習期間になるので、ひとつひとつ積み重ねていってほしいです。最終的には最高の賞を獲得して、伊奈学吹奏楽部の伝統をつないでいってほしいと思います。



# Marching Band

リーダー  
山田 英紀乃さん

## 〈第32回全日本マーチングコンテスト 金賞〉

### 今年の大会を振り返って

— 最後の大会の県予選は練習不足で自分たちの思い描く演奏ではありませんでした。西関東大会で取り返さなければと一度士気が上がりましたが、全国大会前は再び焦りと不安でうまくいきませんでした。

### 本番がうまくいった理由

— 実は本番直前のリハーサルまで音や動きがひとつにならなかったんです。本番前は強豪校が周りにいる中で音出しをしなければならぬので、みんな固くなってしまっていたのですが、最後の最後、自分たちだけのリハーサルのとき、音がパシッと合いました。これはいけると全員が思ったと思います。「このままいくしかない！」と本番に臨めました。

### 後輩部員たちへ

— つらいことも大変なこともたくさんあると思いますが、その先には素晴らしい景色が待っているので、自分たちらしく、自分だけの花を咲かせてください！

